

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

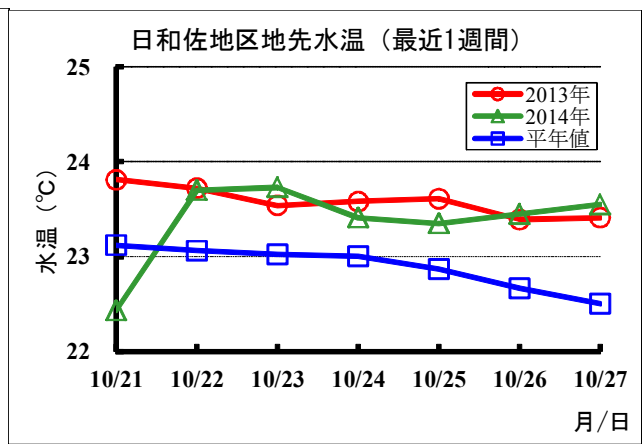
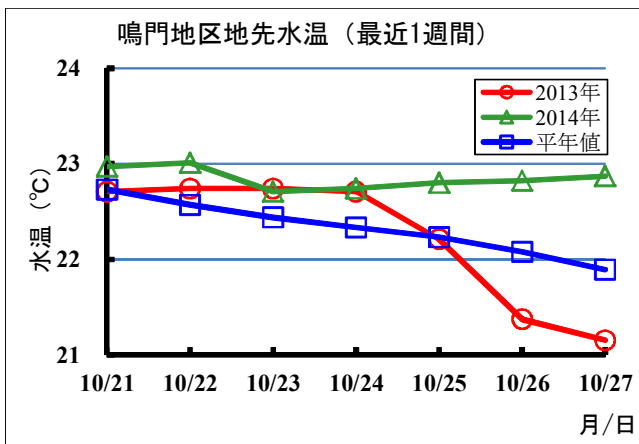
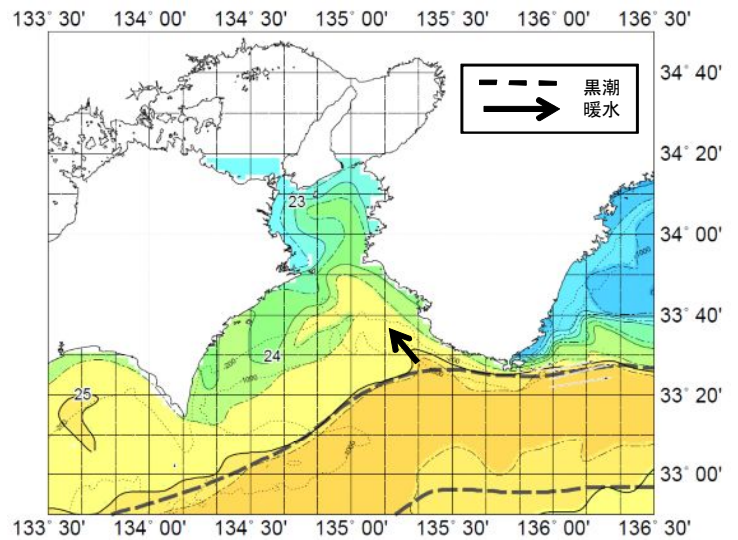
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.10.27）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道では22～24℃台、海部沿岸は22～24℃台である。紀伊水道外域では和歌山県沿岸から反時計回りの暖水流入がある。



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.7～23.0℃、日和佐地区は「やや低め」～「やや高め」の22.4～23.7℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の23.5～24.5℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部郡沿岸で大主体にサワラが0.3トン（1日1隻あたり24kg）、大主体にキダイが0.6トン（同24kg）、カワハギが0.2トン（同51kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でカワハギが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で大・小主体にマアジが0.9トン（同28kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同15kg）、メアジが0.3トン（同12kg）、ヒラソウダが0.9トン（同18kg）、マルソウダが0.4トン（同15kg）、中・小主体にタチウオが0.3トン（同16kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で中主体にサワラが0.4トン（同32kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが50.4トン（同427kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年10月20日～2014年10月26日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サワラ	14	333	24	大主体
		キダイ	24	577	24	大主体
		カワハギ	4	204	51	
建網		カワハギ	57	250	4	
小型定置網		マアジ	31	860	28	大・小主体
		マルアジ	19	287	15	小主体
		メアジ	24	295	12	
	ヒラソウダ	47	851	18		
	マルソウダ	26	396	15		
釣り	紀伊水道	タチウオ	22	346	16	中・小主体
		サワラ	11	353	32	中主体
パッチ網		シラス	118	50,375	427	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月21日～10月27日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.4トン、小型定置網で、小主体にマアジが0.7トン、小主体にマルアジが0.8トン、釣りで、大主体にタチウオが0.2トン、紀伊水道では、釣りで、中主体にサワラが0.2トン、パッチ網でシラスが3.9トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の21～22℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の22～23℃台で推移する見込み。